

教科		科目		担当	
地理歴史		歴史総合		単位数: 2 単位	北田 邦夫
指導目標					
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	実教出版 歴史総合	
スクーリング	1 時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信 日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (〆切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	10/3	入門講座:「歴史総合」とはどんな科目?・「江戸時代までの日本と世界」		第 1 回 10/5 (日)・10/1 (水)・10/3 (金) 「歴史の扉」・「近代化への問い」: 日常生活や身近な地域などにみられる諸事象が時間的な推移や空間的な結びつきの中で歴史とつながっていること、そして資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。また産業社会と国民国家の形成を背景として人々の生活や社会の在り方が変化したことを理解する。	
2	10/10	世界史上の三大革命とその影響	第 1 回 10/24		
3	10/17	19 世紀の世界と日本の開国			
4	10/24	世界の中の明治維新	第 2 回 11/7		
5	10/31	近代国家日本の確立			
6	11/7	帝国主義の時代と東アジア	第 3 回 11/21		
7	11/14	東アジアの変動と日本の産業革命			
8	11/21	第一次世界大戦と日本	第 4 回 12/5	第 2 回 11/16 (日)・11/12 (水)・11/14 (金) 「国際秩序の変化や大衆化への問い」:「ファシズム」という政治体制はどのように出現したのかという課題を追求することによって、大衆民主主義のもたらす問題を歴史的視点から考察する。	
9	11/28	ヴェルサイユ・ワシントン体制とアジアの民族運動			
10	12/5	社会運動と普通選挙の実現	第 5 回 12/19		
11	12/12	世界恐慌からファシズムの時代へ			
12	12/19	軍部の台頭と戦時体制の確立	第 6 回 1/6	第 3 回 12/21 (日)・1/14 (水)・12/19 (金) 「グローバル化への問い」・「現代的な諸課題の形成と展望」: ガンディーによる「塩の行進」を考察することにより、「非暴力・不服従」という手段が、「暴力の応酬」や「戦争」・「紛争」という、現代的な諸課題の解決に関わる	
13	12/26	第二次世界大戦とその時代			
14	1/2	戦後の世界と日本の民主化			
15	1/9	植民地の独立と多極化する世界			
16	1/9	期末試験について			
17	1/9	期末試験について			
18	1/16	日本の高度経済成長と世界経済	期末試験：2/3 (火) 試験範囲：通信講座：第 2 回～第 13 回 レポート：第 1 回～第 6 回 ※スクーリングは、(日)(水)それぞれ登校クラスごと、(金)は 1 年次のみに実施。		
19	1/16	冷戦の終息と日本の経済大国化			
20	1/16	地域紛争と国際秩序の変容			

教 科		科 目		担 当 者	
地理歴史		地理総合		単位数：2 単位	緑川 孝浩
指導目標					
1. 生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身に付ける。					
2. 地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。					
3. 我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。					
高校通信教育講座	あり	講 座 数：全 20 回	教 科 書	『新地理総合』『新詳高等地図』	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数：1 時間以上	学 習 図 書	自校作成の教材資料を使用	
レポ ー ト	全 6 回	合 格 枚 数：6 枚	副 教 材	なし	
期 末 試 験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	10/3	地理を学ぶ（入門講座）		① A：10/5(日) W：10/1(水) Wf：10/3(金) ・地球上の位置と時差	
2	10/10	地球上の位置と時差	第 1 回 10 月 24 日	・地図の役割と種類	
3	10/17	地図の役割と種類			
4	10/24	現代世界の国家と領域	第 2 回 11 月 7 日	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PC などを持参すること。	
5	10/31	グローバル化する世界		※スクーリングの内容は変更する場合があります。	
6	11/7	世界の地形と人々の生活①	第 3 回 11 月 21 日	② A：11/16(日) W：11/12(水) Wf：11/14(金)	
7	11/14	世界の地形と人々の生活②		・世界の地形と人々の生活	
8	11/21	世界の気候と人々の生活	第 4 回 12 月 5 日		
9	11/28	地球環境問題			
10	12/5	資源エネルギー問題	第 5 回 12 月 19 日		
11	12/12	人口・食料問題			
12	12/19	都市・居住問題	第 6 回 1 月 6 日	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PC などを持参すること。	
13	12/26	自然災害と防災①		※スクーリングの内容は変更する場合があります。	
14	1/2	自然災害と防災②		③ A：12/21(日) W：1/14(水) Wf：12/19(金)	
15	1/9	世界の気候と人々の生活（追究事例）		・世界の気候と人々の生活	
16	1/9	期末試験について①			
17	1/9	期末試験について②			
18	1/16	世界の言語・宗教と人々の生活（追究事例）			
19	1/16	歴史的背景と人々の生活（追究事例）	期末試験：2/3(火) 1 時間目(9:30～10:20)		
20	1/16	世界の産業と人々の生活（追究事例）	試験範囲：【通信講座】第 2 週～第 13 週 【レポート】第 1 回～第 6 回		

教 科		科 目		担 当 者	
地理歴史		地理探究②		単位数：2 単位	緑川 孝浩
指導目標					
1. 生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身に付ける。					
2. 地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。					
3. 我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。					
高校通信教育講座	あり	講 座 数：全 20 回	教 科 書	『新詳地理探究』『新詳高等地図』	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数：1 時間以上	学 習 図 書	自校作成の教材資料を使用	
レポ ー ト	全 6 回	合 格 枚 数：6 枚	副 教 材	なし	
期 末 試 験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	10/3	地理を学ぶ（入門講座）		【第 1 回】 A：10/19(日) W：10/1(水) ・地理的事象の探究	
2	10/10	第 3 次産業	第 1 回 10 月 24 日	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。	
3	10/17	交通・通信			
4	10/24	観光	第 2 回 11 月 7 日		
5	10/31	貿易と経済圏	第 3 回 11 月 21 日		
6	11/7	人口と人口問題	第 3 回 11 月 21 日	【第 2 回】 A：11/30(日) W：12/10(水) ・地理的事象の探究	
7	11/14	村落と都市		第 4 回 12 月 5 日	
8	11/21	都市・居住問題	第 4 回 12 月 5 日	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。	
9	11/28	民族・宗教と民族問題			
10	12/5	国家の領域と領土問題	第 5 回 12 月 19 日		
11	12/12	日本の自然環境	第 6 回 1 月 6 日		
12	12/19	現代世界の諸地域（E U 諸国①）	第 6 回 1 月 6 日	【第 3 回】 A：1/11(日) W：1/14(水) ・地理的事象の探究	
13	12/26	現代世界の諸地域（E U 諸国②）		※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。	
14	1/2	現代世界の諸地域（ロシア）			
15	1/9	現代世界の諸地域（アメリカ合衆国）			
16	1/9	期末試験について①			
17	1/9	期末試験について②			
18	1/16	現代世界の諸地域（ラテンアメリカ）			
19	1/16	現代世界の諸地域（オーストラリアとニュージーランド）	期末試験：2/3(火) 6 時間目(15:10～16:00) 試験範囲：【通信講座】第 2 回～第 13 回 【レポート】第 1 回～第 6 回		
20	1/16	現代世界の諸地域（北アフリカとサハラ以南アフリカ）			

教科	科目		担当
地理歴史	日本史探究②	単位数：2 単位	田村 基成
我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養う。			
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書 東京書籍 日本史探究
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書 自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 枚	合格枚数 6 枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定 100 点法 5 段階評定

回	配信 日付	高校通信教育講座 学習項目	レポート 締切期日	スクーリング 日程と内容
1	10/3	応仁の乱と戦国大名	第 1 回 10/24	本能寺の変 10/19(日) 10/1(水) 1580 年、織田信長は家臣の明智光秀に討たれた。織田家の重臣であった明智光秀がなぜ、謀反を起こしたかについては諸説あり、明らかになっていない。本能寺の変の動機について、先行研究と諸説を踏まえながら、探究的な考察を行う。
2	10/10	大航海時代、織田信長の統一事業		
3	10/17	豊臣秀吉の全国統一		
4	10/24	江戸幕府の成立	第 2 回 11/7	
5	10/31	鎖国の完成		
6	11/7	武断政治から文治政治へ	第 3 回 11/21	
7	11/14	享保の改革		
8	11/21	田沼の政治、寛政の改革	第 4 回 12/5	黒船来航と開国 11/30(日) 11/12(水) 260 年間続いた江戸幕府の鎖国政策は、黒船来航によって開国を迎えた。同時に時代は急激に動き、明治維新を迎えることになる。開国と明治維新がどのような経緯で至ったかについて、考察していく。
9	11/28	幕藩体制の動揺、天保の改革、		
10	12/5	開国と開港	第 5 回 12/19	
11	12/12	尊王攘夷から倒幕へ		
12	12/19	明治維新と新政府、殖産興業	第 6 回 1/6	
13	12/26	自由民権運動		
14	1/2	立憲政治の成立		日露戦争 1/11(日) 12/17(水) 明治維新から 40 年後、日本は西洋の大国であるロシアに勝利した。日露戦争は史上初の帝国主義同士の戦争であった。日本はなぜ、ロシアに勝利することができたのか？現代においても戦争は続いている。明治期の戦争について学ぶことで、現代の戦争について考察する。
15	1/9	条約改正と日清戦争		
16	1/9	日本の産業革命、日露戦争		
17	1/9	第一次世界大戦と大正デモクラシー		
18	1/16	日本の対外進出、昭和恐慌		
19	1/16	日中戦争	期末試験：2 月 2 日(月) 期末試験範囲：第 2 回～第 13 回 レポート第 1 回～第 6 回	
20	1/16	第二次世界大戦と日本の敗戦		

教 科		科 目		担 当 者	
公民		公 共	単位数： 2 単位	鈴木 浩正	
指導目標：人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
①諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。					
②選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。					
③現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	第一学習社 高等学校 新公共	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	10/3	公共を学ぶ～公共的な空間に生きる私たち		第 1 回 10/5 (日) 10/17 (金)	
2	10/10	公共的な空間をつくる私たち	第 1 回 10 月 24 日	【公共的な空間のとらえ方】	
3	10/17	公共的な空間における人間としてのあり方 生き方		私たちの生きる社会とはどのような社会なのか？地球環境問題や人口問題、資源エネルギー問題など現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察する。多面的多角的に考察するために、教科書以外の生徒たちの身近にあるテーマを取り入れる。	
4	10/24	公共的な空間における基本的原理	第 2 回 11 月 7 日	第 2 回 11/16 (日) 11/28 (金)	
5	10/31	法や規範の意識と役割		【政治的な主体となる私たち】	
6	11/7	司法参加の意義	第 3 回 11 月 21 日	身近にあるテーマから『政治や選挙』について考えることで、「政治参加と公正な世論の形成、地方自治」について取り上げ、社会の在り方を多面的多角的に考察する。私たちににとっての幸福、正義、公正などとはどのようなことかについて理解し、その知識を身に付ける。また、自己の生き方について考察する	
7	11/14	私たちと選挙		第 3 回 12/21 (日) 1/16 (金)	
8	11/21	さまざまな政治体制と日本の国会・内閣	第 4 回 12 月 5 日	【経済の主体となる私たち】	
9	11/28	国際社会と国家主権		公正で自由な経済活動のために、何が必要か、雇用と労働問題、職業観、市場経済の機能と限界、金融、財政、社会保障、経済のグローバル化などに着目することによって、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。	
10	12/5	国際平和のために日本は何ができるのだろうか	第 5 回 12 月 19 日		
11	12/12	市場経済の機能と限界			
12	12/19	経済のグローバル化～国際分業と貿易	第 6 回 1 月 6 日		
13	12/26	フェアトレードを考える～グローバル化する経済			
14	1/2	地球環境問題と資源・エネルギー問題			
15	1/9	生命倫理			
16	1/9	期末試験			
17	1/9	期末試験			
18	1/16	契約と消費者の権利			
19	1/16	雇用と労働問題／社会の変化と職業観	期末試験：2 月 5 日 (木)		
20	1/16	持続可能な社会保障制度を維持するにはどうすべきだろう？	試験範囲は第 2 週～第 13 週、レポート第 1 回～第 6 回		

教 科		科 目		担 当 者	
公民		政治経済	単位数： 2 単位	鈴木 浩正	
指導目標： 社会の在り方について の見方・考え方を働かせ、現代の政治、経済、国際関係の動向や本質に関わる諸課題を 追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主 体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・ 能力を育成する。					
1. 現実社会の諸事象を通して現代日本の政治・経済に関する概念 や理論などを習得する。					
2. 現実社会の諸事象を通して現代のグローバル化する国際政治・経済に関する概念や 理論などを習得する。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	第一学習社 高等学校 政治・経済	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	10/3	『政治・経済』での学び		第 1 回 10/5 (日) 10/29 (水) 【持続可能な社会の実現に向けて】	
2	10/10	政治と法の意義と機能～ 法の支配と立憲主義	第 1 回 10 月 24 日	持続可能な社会の実現に向けた、国家や国際機関、企業の取り組みは多岐に渡る。	
3	10/17	基本的人権の保障と日本国憲法～ 権利と義務との関係		私たち一人ひとりも、地球規模で考え、足元からの行動をとることが重要である。	
4	10/24	議会制民主主義と世界の政治体制～ 裁判所の機能と司法制度		日々の生活の中で自分にできることを考えていく。	
5	10/31	地方自治制度と住民の権利～ 政党政治と選挙	第 2 回 11 月 7 日		
6	11/7	経済活動と市場～経済主体と経済循環	第 3 回 11 月 21 日	第 2 回 11/16 (日) 11/26 (水) 【現代日本の政治・経済の諸課題】	
7	11/14	国民経済の大きさと経済成長～ 財政のしくみと租税の意義		現代日本の政治・経済の諸課題について、	
8	11/21	金融のしくみとはたらき～ 日本経済の変化	第 4 回 12 月 5 日	事柄や出来事の意味や意義、ものごとの特色や相互の関連性を調べ、結論を導くこと	
9	11/28	中小企業・農業問題～ 社会保障制度と福祉のあり方		(考察) や、その解決のあり方や方法を考え、まとめること (構想) を通して、探究	
10	12/5	国際社会の変遷～国際法の意義	第 5 回 12 月 19 日	活動を行っていく。図表やイメージマップなどの思考ツールを活用して、課題の解決	
11	12/12	国際機構の役割 ～日本の安全保障と国際貢献		のあり方や方法を学習する。	
12	12/19	貿易の現状と意義～国民経済と国際収支	第 6 回 1 月 6 日	第 3 回 12/21 (日) 1/28 (水) 【グローバル化する国際社会の諸課題】	
13	12/26	為替相場の変動～ 国際経済における日本の地位と国際協力		グローバル化する国際社会の諸課題に	
14	1/2	国際社会の諸課題の探究①		ついて事柄や出来事の意味や意義、ものごとの特色や相互の関連性を調べ、結論を導くこと (考察) や、その解決のあり方や方法を考え、まとめること (構想) を通して、探究	
15	1/9	国際社会の諸課題の探究②		活動を行っていく。図表やイメージマップなどの思考ツールを活用して、課題の	
16	1/9	期末試験		解決のあり方や方法を学習する。	
17	1/9	期末試験			
18	1/16	現代日本の諸課題の探究①		期末試験：2 月 3 日 (火) 試験範囲は第 2 週～第 13 週、レポート第 1 回～第 6 回	
19	1/16	現代日本の諸課題の探究②			
20	1/16	現代日本の諸課題の探究③			